

## 平成19年度の血漿分画製剤の需給状況(4月～9月実績と需給計画との比較)

製剤名	換算規格・単位	製造・輸入量		③供給量	自給率(供給ベース)	
		①計	②うち国産原料		18年度	19年度 (上半期)
		上段:実績(達成率) 下段:需給計画	上段:実績(達成率) 下段:需給計画	上段:実績(達成率) 下段:需給計画		
アルブミン	25%50ml(瓶)	1,689,500 (52.2%) 3,236,800	1,070,200 (51.7%) 2,068,800	1,623,200 (49.8%) 3,259,200	56.8%	63.7%
乾燥人フィブリノゲン	1g	1,200 (52.2%) 2,300	1,200 (52.2%) 2,300	1,500 (62.5%) 2,400	100.0%	100.0%
組織接着剤	接着面積(cm2)	5,212,200 (48.2%) 10,803,700	2,949,800 (55.9%) 5,275,000	5,124,200 (47.8%) 10,723,300	49.6%	48.2%
血液凝固第Ⅷ因子(遺伝子組換え型含む)	1000単位(瓶)	164,300 (46.7%) 351,900	47,700 (41.7%) 114,500	157,500 (45.9%) 343,000	35.6%	32.3%
乾燥濃縮人血液凝固第Ⅸ因子(複合体含む)	1000単位(瓶)	18,300 (53.4%) 34,300	18,300 (53.4%) 34,300	16,900 (45.6%) 37,100	100.0%	100.0%
インヒビター製剤	延べ人数(人)	7,600 (52.4%) 14,500	0 0	8,100 (59.1%) 13,700	0.0%	0.0%
ヒト血漿由来乾燥血液凝固第ⅩⅢ因子	(瓶)	68,000 (52.2%) 130,200	0 0	59,600 (50.9%) 117,200	0.0%	0.0%
トロンビン(人由来)	10000単位(瓶)	16,200 (30.1%) 53,800	16,200 (30.1%) 53,800	12,100 (34.8%) 34,800	100.0%	100.0%
人免疫グロブリン	2.5g瓶(瓶)	697,200 (46.2%) 1,509,500	670,700 (46.7%) 1,437,100	716,000 (47.2%) 1,515,900	91.2%	95.8%
抗HBs人免疫グロブリン	1000単位(瓶)	16,600 (55.0%) 30,200	600 (100.0%) 600	8,300 (35.6%) 23,300	2.2%	2.9%
乾燥抗D(Rho)人免疫グロブリン	1000倍	4,100 (43.6%) 9,400	0 0	4,600 (53.5%) 8,600	0.0%	0.0%
抗破傷風人免疫グロブリン	250単位(瓶)	23,200 (31.7%) 73,200	0 0	41,700 (49.3%) 84,600	0.0%	0.0%
乾燥濃縮人アンチトロンビンⅢ	500単位(瓶)	224,200 (54.3%) 413,200	224,200 (55.9%) 401,100	203,800 (46.5%) 438,100	96.3%	97.2%
乾燥濃縮人活性化プロテインC	2500単位(瓶)	0 0	0 0	260 (130.0%) 200	100.0%	100.0%
人ハプトグロビン	2000単位(瓶)	12,600 (28.7%) 43,900	12,600 (28.7%) 43,900	20,700 (47.0%) 44,000	100.0%	100.0%
乾燥濃縮人C1-インアクチベーター	500倍(瓶)	350 (50.0%) 700	0 0	420 (91.3%) 460	0.0%	0.0%

注1. 数値は、製品の規格別に報告された数量を集計し、代表的な規格・単位に換算したうえ、四捨五入により100又は10の整数倍で表示した。

注2. 液状タイプの組織接着剤については、接着・閉鎖部位の面積当たりの使用量を勘案して換算し、インヒビター製剤については、体重50kgの人への投与量を標準として人数で算出した。